

さくらっこ便り 2022年 1月8日号

さくらっこ広場通信 第95号

新年あけましておめでとうございます

今年もどうぞよろしく願い申し上げます

暮れからお正月にかけて、福島市は大雪でしたね。

短大駐車場は、正月早々事務職員が連日雪かきを行いました。周辺の道路の除雪は、8日から除雪車が凍り付いた雪をガリガリ音を立てて、削り始めたばかりです。小中学校が始まる来週は、溶けてほしいなあ・・

今日も元気なさくらっこ達 6組 13名と、学生は保育コース1年生が4名、キャリア教養学科1名が参加してくれました。雪遊びが始まるかなあ？

体を温めるために、今日は昨年学生たちが作った手作り味噌で豚汁を作る予定です。



意外なことに、雪で遊ぶ人はいませんでした・・へえ？どうしたの？ですが、中はこんな様子です。



ドキュメンテーションの通りですが、4年生Hくんと、中1Rくんが、最初から最後まで、二人で作ってくれました。学生は、下ごしらえした野菜を事前に並べただけで、あとは全部二人で手助け無しで作ってくれたのでした。おうちでも、きっと自分で作れると思います。お母さんお父さんもびっくりです。



さて、こちらは、前日の小さなさくらっこ達の広場用に学生が作った、風船マットです。
お兄さんたちはどうやって遊ぶかなあ・・・と楽しみにして出しておきました。早速見つけた、Mくん Sくんです。
おや？「お姉さん、楊枝だして」と頼まれて、学生が楊枝を1本手渡したところ・・・



なるほど、圧縮袋の上からでも、楊枝で割れるんですね。すごいアイデアです。お父さんが「あ！これ！」とか慌てておられますが、そんなことお構いなしです。きっと割られるとは思っていましたが、こういう割り方は予想していなかったのので、学生たちも感心していました。袋に入っていると、割っても飛び散らなくて、怖くない感じです。



Iちゃんも、この活発な二人と、お姉さんたちと一緒にしっかり遊び始めました。4月から幼稚園で、2歳差がありますが、元気さは同じです。



久しぶり！Mくんは、ママの陰に隠れてお姉さんが誘っています。
そのうち、自分でやりたいことを見つけて、遊びだしました。4月から4年生です。



風船が入っていたあの圧縮袋をハチャメチャに振り回しながら、走り回り、じゃれ合っ、みんな遊びました。
ハチャメチャに遊んだ後に、やっと一息つきながら、お医者さんごっこか、始めます。
Sくんも、ホッとして組み立てパズルを始めました。Iちゃんは、ピンポン玉をポコポコ・・・「卵だよ」ですって。
みんな、本当にのびやかにお姉さんたちと遊びます。
「じゃれ合う」空間がとても活気に満ちていて、おうちでは、きっと無理ですよ。お母さんお父さんたちも、目を細めてみてください。子どもたちって、自分で遊びのペースを作れるのですね。



ちなみに、豚汁ができたので、Rくんはママと「ちゃぶ台卓球」を始めました。小さな台で、ちゃんとできるところがすごいです



室内なのに、とても活発に遊んだので、食べるときはとても落ち着いて静かです。味噌って、なんか、気持ちを落ち着ける作用があるのかもしれない。

オミクロン株による感染が、これから東北地方にも広がる可能性があります。おやつなど、一緒に作って食べる活動は、次は無理かもしれません・・・などと感じ、1月29日(土)は草木(玉ねぎ)染をやる予定です。

また一緒に遊びましょう！

<1月、3月の予定> *2月はお休みさせていただきます。

1月29日(土) 草木(玉ねぎ)染めを楽しもう

3月26日(土) 春の遊びを探そう

連絡先 狩野奈緒子(桜の聖母短期大学) naoko-k@ssjc.ac.jp

毎回、お手数ですが、ご参加の方は、メールにてご連絡ください。